場所：国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑
令和7年7月15日（火）午後6時より法要開始

太平洋戦争戦没者の
御霊（みたま）の安らぎを願い、
感謝の祈りを捧げます

「国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑」には、先の大戦で亡くなられた約37万柱の無名の戦没者が眠っておられます。日本のために散華された戦没者の方々の御霊（みたま）が安らかなることを祈ります。

終戦80年 太平洋戦争戦没者供養
護摩法要

千鳥ヶ淵万燈会（まんどうえ）

「国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑」とは
昭和34年、国によって建設された墓苑です。「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」では、先の大戦において海外で亡くなられた約210万の軍人・軍属・準軍属と約30万の一般邦人、合わせて240万人の戦没者のご遺骨のうち、政府等が外地から持ち帰り、ご遺族にお渡しできなかった370,691柱（令和6年10月18日現在）のご遺骨が安置されております。

宗旨・宗派を問わず
どなたでもご参拝いただけます。

先祖供養の総本山
阿含宗（あごんしゅう）
阿含宗ホームページ https://www.agon.org/